

2007年6月3日

八ヶ岳高原旅行

2007年5月29日から6月1日まで3泊4日で「鳥に出逢い、大地に遊び、星と語る」八ヶ岳高原ロッジに宿泊し、ロッジ周辺、野辺山、清里を散策した。



八ヶ岳高原ロッジからの八ヶ岳連峰（パンフレットから）

第一日目(5月29日)

藤が丘駅 10:45 の電車に乗り、長津田、八王子、小淵沢経由で小海線の野辺山駅(標高1345.67m)に13:50に到着した。駅の正面には八ヶ岳の雄大な姿が見られた。駅からは14:05の



送迎バスでホテルに向かった。まず、141号線(佐久甲州街道)を北北東へ現地の高原野菜の即売所(びっくり市)や観光バスの休息所などを通過し、橋が工事中の板橋川を渡り、約4kmのところまで左折、更に500mほど行き更に左折して、杣添川(そまぞえがわ)を渡り、約6kmで、宿泊予定の八ヶ岳高原ロッジに到着した。所要時間約20分であった。標高は1573mで落葉松林の海の口別荘地の中

にある小鳥のさえずりの聞こえる静かなホテルである。

チェックインして小休息の後、遊歩道(テニスコート、陶芸工房、八ヶ岳音楽堂、八ヶ岳高原ヒュッテ)を小一時間散策した。よく整備された遊歩道の周辺にはミズナラ、カンバ類、シラカシ、ウラジロモミ、カラマツ、ドウダンツツジ、アカマツなどが密生していた。



第2日目(5月30日)

カッコウやウグイスの声で、目が覚めた。ロビーの前の芝生には鳥の餌台があり、双眼鏡が用意されており、野鳥を眺めることができた。ウソやイカルを見ることができた。空気が澄んで気持ち良かったので、美鈴湖(標高1630m)まで小一時間シラカバ林を散策した。美鈴湖から八ヶ岳の主峰赤岳(2899m)と横岳(2825m)を目前に見ることができた。



今日の昼間は清里へ行くことにして 10:30 発の送迎バスで野辺山駅へ向かった。10:51 の高原列車に乗るつもりであったが、駅について確認したところ土曜・休日運転であることが判り、次の列車(11:52)まで一時間待つことになった。この時間を利用して駅前の南牧村美術民俗資料館を見学した。常設展示場には「いま蘇る、古人の足跡」をテーマに、矢出川遺跡群の細石器、縄文・弥生の土器、開拓の歴史、古人の使用し



た農具、家具、民具などが展示されており、地域を理解する上で大いに役立った。同時に開催されていた水彩画の達人西丸式人(さいまる のりと)の五面体展も鑑賞した。時刻表の読み違いが思わぬ効用となった。駅に行くとホームに溢れんばかりの人がおり何事かと駅員に聞くと、名古屋から観光バス6台で来た観光客が野辺山と清里間(途中に JR 鉄道最高地点 1375mの記念碑がある)の高原列車に乗るためであるとのことであった。清里駅で降り、清泉寮へ行くため駅前のバスターミナルで清里地域を

巡回しているピクニックバスの時刻表をチェックしたところ適当なバスがないので、徒歩で行くこととした。途中、キープ農場へ立ち寄り、簡単な



昼食をとった。清泉寮周辺はポール・ラッシュ記念センターや山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターなどがある。ふれあいセンターでは心のふるさと「星野道夫と谷口牧場」という説明パネルがあり、最近、アラスカに興味を持ち、星野道夫の著作を読んでいたのので、感銘を受けた。清泉寮からは 14:00 のピクニックバスに乗り、東沢大橋、まきば公園、美し森/清里高

原ホテルなどを回って清里駅へ帰った(14:22)。15:37 の列車には少し時間があつたので、駅近くの清里北澤美術館へ行った。ここはアール・ヌーヴォーガラス工芸品を展示しており、展示室入り口のアール・ヌーヴォーの特徴である流麗な曲線と一体化した女性の姿は圧巻であった。入り口付近のツツジがとても美しかった。姉妹館の北澤美術館と新館は諏訪湖周辺にあり、多くのガラス工芸品を展示しているという。美術館を後に、清里(15:37) - 野辺山(15:45)、野辺山(15:50) - (送迎バス) - ホテル(16:10)で帰着した。八ヶ岳高原音楽堂ではサロンコンサート(17:30 開演のジャズコンサート)が開催されるよう人々が集まっていた。このホテルでは、時々、コンサートを行っているようである。



第3日(5月31日)



今日は甲斐大泉から天女山(1529m)へ行く予定にしていたが雨模様のため朝はホテルが主催する美鈴湖まで行くネイチャーウォークに参加した。その後、11:15 ホテル送迎バスで野辺山駅へ行き、昨日と同じ列車(今日もバス2台分の乗客あり)で清里へ行った。駅近くのお蕎麦屋で山菜そばを食べ、周囲の見所を聞いたところ近くのマイセンの美術館を紹介されたので、そこへ行った。還暦近くのオーナー鈴木さんの案内で展示品を鑑賞した。マイセンを中心にヨーロッパの各地で収集した日本では見られない珍品が多数あり、雨天のおかげで、私たち以外に客はなく、オーナーと会話しながら、ゆっくりと鑑賞できた。オーナーの話によると午前中には60人を超える観光バスの客があつたそうである。



雨が止まないのので、ピクニックバスでバスセンター14:40 発、丘の公園を回り、バスセンター15:05 着で回った。その後、前日と同じ、列車と送迎バスで16:10 帰着した。

第4日目(6月1日)

朝食後、チェックアウトし、荷物を預けて、ホテル周辺を散策したり、ホテルのロビーからの双眼鏡での観鳥(ウソやイカル)をして過ごした。ホテルのロビーにその日の夜星を見る会が開催されるとの掲示が出ていたが参加できず残念であった。そして11:15の送迎バスで、帰路に向かった。甲斐小泉では新型車両(ハイブリッド車)の試運転と対向した。藤が丘に15:15 帰着した。

